

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成25年12月5日(2013.12.5)

【公開番号】特開2013-30202(P2013-30202A)

【公開日】平成25年2月7日(2013.2.7)

【年通号数】公開・登録公報2013-007

【出願番号】特願2012-243607(P2012-243607)

【国際特許分類】

G 07 G 1/00 (2006.01)

G 07 G 1/01 (2006.01)

【F I】

G 07 G 1/00 3 1 1 D

G 07 G 1/01 3 0 1 D

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月17日(2013.10.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

実施形態の店舗システムは、商品名及び商品画像を記憶する記憶手段と、撮像手段が撮像した画像の特徴量を読み取ることによって特定の物体を認識する物体認識手段と、認識された前記物体について、前記記憶手段が記憶する商品名及び商品画像に基づいて売上登録を行う登録手段と、認識された前記物体毎の画像を表示部の第1の表示領域に表示し、商品名及び個数及び価格を履歴として、前記表示部の第2の表示領域に表示する確認画像表示手段と、を備える。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

実施形態のプログラムは、コンピュータを、商品名及び商品画像を記憶する記憶手段と、撮像手段が撮像した画像の特徴量を読み取ることによって特定の物体を認識する物体認識手段と、認識された前記物体について、前記記憶手段が記憶する商品名及び商品画像に基づいて売上登録を行う登録手段と、認識された前記物体毎の画像を表示部の第1の表示領域に表示し、商品名及び個数及び価格を履歴として、前記表示部の第2の表示領域に表示する確認画像表示手段と、として機能させる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

商品名及び商品画像を記憶する記憶手段と、

撮像手段が撮像した画像の特徴量を読み取ることによって特定の物体を認識する物体認

識手段と、

認識された前記物体について、前記記憶手段が記憶する商品名及び商品画像に基づいて売上登録を行う登録手段と、

認識された前記物体毎の画像を表示部の第1の表示領域に表示し、商品名及び個数及び価格を履歴として、前記表示部の第2の表示領域に表示する確認画像表示手段と、を備えることを特徴とする店舗システム。

【請求項2】

前記物体認識手段が物体認識に用いる前記画像の特徴量は、前記物体の表面の状態である、

ことを特徴とする請求項1記載の店舗システム。

【請求項3】

前記確認画像表示手段が認識された前記物体についての画像を表示する前記表示部は、顧客に向けて情報を表示する顧客用表示デバイスである、
ことを特徴とする請求項1または2記載の店舗システム。

【請求項4】

前記物体認識手段は、認識の結果、物体の候補が複数あると判定した場合には、当該複数の物体の候補を報知し、何れか一つの物体の選択を受け付ける、
ことを特徴とする請求項1ないし3のいずれか一記載の店舗システム。

【請求項5】

コンピュータを、
商品名及び商品画像を記憶する記憶手段と、
撮像手段が撮像した画像の特徴量を読み取ることによって特定の物体を認識する物体認識手段と、

認識された前記物体について、前記記憶手段が記憶する商品名及び商品画像に基づいて売上登録を行う登録手段と、

認識された前記物体毎の画像を表示部の第1の表示領域に表示し、商品名及び個数及び価格を履歴として、前記表示部の第2の表示領域に表示する確認画像表示手段と、
として機能させることを特徴とするプログラム。

【請求項6】

前記物体認識手段が物体認識に用いる前記画像の特徴量は、前記物体の表面の状態である、

ことを特徴とする請求項5記載のプログラム。